

別 紙

春季休業期間中の学校開放における留意事項について（3月24日現在）

春季休業期間中に、学校を開放する場合、万全な感染拡大防止対策（登校日の朝の検温、マスクの着用、手洗い・手指の消毒の実施、教室・体育館等の換気など）を行うとともに、児童生徒に指導した上で、学年やクラスを日時などで分散させて登校させるほか、時間を短縮するなど工夫をして人が密集しない環境を確保する。

1 学校開放における留意事項

(1) 施設開放に関すること

- ・児童生徒が安全に活動できるよう学校管理下において、適切に実施する。
- ・児童生徒が学校施設で活動する場合は、保護者の了承のもと実施する。
- ・児童生徒の健康管理等について、家庭との連絡を密にする。
- ・児童生徒が登校する際には、朝の検温を徹底させる。
- ・児童生徒の健康観察を十分に行い、風邪等の症状がある場合には参加させない。
- ・児童生徒が公共交通機関を利用して登校する場合、特に感染防止に留意させる。
- ・一度に大人数が集まって人が密集する運動や活動とならないよう、活動時間や場所等に配慮した計画に基づき実施する。
- ・けがや急な体調不良等の事態に適切に対応できるよう、教職員を適切に配置する。
- ・記録簿等により、活動している児童生徒を把握（氏名、学年、体温、体調の良否）する。
- ・活動中、体調が悪くなった場合は速やかに活動を中止し、適切に対応する。
- ・活動終了後、児童生徒に不要不急の立ち寄りをさせず、速やかに帰宅させる。

(2) 感染症拡大防止対策

- ・手洗いや咳エチケットを徹底する。
- ・感染拡大防止のための対策等を講じる。特に、屋内で活動する場合、ドアを広く開け、こまめな換気を心がけ、ドアノブ等、手で触れる箇所はこまめに拭くようにする。
- ・児童生徒が器具・ボール・楽器等を使用する場合は、教職員の許可のもと、衛生面に十分配慮して使用させる。
- ・身体接触のある活動、互いに近接して行う活動は行わせない。また、器具やボール等を介して接触する活動においては、内容や方法に配慮するとともに、児童生徒にこまめな手洗いをさせる。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止する措置は依然として継続しているため、その趣旨を理解した上で活動する。また、学校以外の施設での活動においても児童生徒に指導を行う。

(3) 部活動

- ・部活動を実施する場合には、原則として校内における活動に限定して実施する。
- ・上記事項を遵守し、顧問の指導の下で安全衛生面に十分注意して行う。
- ・合宿や遠征、県内外の他校との練習試合や合同練習、演奏会や展覧会等については行わない。

2 その他

上記の対応が十分に行うことができない場合は、施設の開放を見合わせる。

また、各学校は、県や文部科学省、厚生労働省等のホームページをこまめに確認するとともに、最新の情報を入手し、引き続き、児童生徒の安全確保に留意する。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、対応が変更になる可能性がある。